

日食観測準備勉強会

編集子

NPO 法人花山星空ネットワークは、2009年5月30日(土)の午後、京都大学理学研究科6号館401号室にて「日食観測準備勉強会」を開きました。参加者は予想をはるかに上回り、会場いっぱいの300名、日食に対する関心の深さが感じられます。3時間にわたり下記プログラムにそって講演が行われ熱心な質疑応答が交わされました。

- (1) 「7月22日の日食が世紀の日食と云われるわけ」 黒河宏企
- (2) 「太陽コロナスケッチの勧め」 鈴木美好
- (3) 「日食観測と撮影の失敗談」 茶木恵子
- (4) 「私の皆既日食観測体験」 柴田一成
- (5) 「皆既日食インターネット中継ネットワークについて」 尾久土正巳
- (6) 「部分日食の"測光"観測計画の紹介」 前原裕之
- (7) 「20世紀21世紀の日本で見える大日食」 作花一志



(1)(2)(3)(5)(6)(7)の内容についてはp2からの記事をお読みください。

柴田さんからは1998年2月26日のカリブ海ガダループ島、2006年3月29日のエジプト、2008年8月1日の中国・敦煌の近くの皆既日食観測体験を通して次のようなおすすりめがありました。

部分日食も感動的

木漏れ日観測(右図) 手指ピンホールカメラ、紙穴ピンホールカメラも面白い。

皆既日食は、初めてならば、まず自分の目で、すべてを楽しもう

可能なら良い双眼鏡を準備

良いデジカメがあれば写真撮影を楽しめるし、デジタルビデオがあればなお良い

時間があればスケッチを

プロミネンス(太陽のふちに赤い炎のようなもの)にもぜひ注目を!